

安心トレイン新聞

発行日
2020年9月2日
発行者
新山 貴喜美

今こそ必要

コロナウイルス等のウイルス対策として、走行時に空気を入れかえられるよう車内のまじりを少し開けるだけで、よく、安心して乗れるように車内全体にコーティングをしてウイルスや菌に付く機会を減らすことができます。それでも外から帰ったら手洗いとうがいはいし、しっかり行おうね!!

抗ウイルス 抗菌
車内のわずかな光により抗ウイルス・抗菌効果が得られます。
施工済
Anti Virus & Bacteria Coating
このマークが目印!!

席のないスペース!!

車イスやベビーカーの人が安心してつかえる場所があります。場所がはざりしているのだから、わかりやすいです。しかも乗務員と話せるひびょう通話器も設置する高さで配りまわっています。



安心してのれる工夫がいっぱい

いろんな人が見てわかる

日本語が分からなくても漢字が読めなくてもイラストやドットの上に次の駅名がわかるようになっていきます。どんなお客様が来るかわからないから必要だと思いましたが、さくらドットにしようか、ういっすのステッカーは、東急線の電車にはってありましたが、まの絵もわかりやすい子どもが見やすい高さではってあるのよ、わかりやすいです。



黄色が一番

ドアのとびらとゆかが黄色にぬられています。これは目の見えにくい人でもドアの場所が分かるようにしている工夫です。写真だと見えにくいですが、点字で何号車の何番目のドアの場所であるかも書いてあります。もちろんあげたり、しめたりする時に、音やランプで知らせるようになっています。



つかまりやすくなる工夫

電車に乗る人のせが低くても、手のとく所につかめやすくなる工夫がされています。目の不自由な人にも見えるように、黒と黄色のつりかともぶら下がっています。目の不自由な人やお年寄り、小さな子ども、いんぶさんがいたら席をゆずろうね!!



こんなところにも安心

目不自由の人が電車に乗るときに、電車の入り口と間がえないうちにすき間をせまくしているそうです。昔の写真と見比べると、見えない細やかなちがいですが、大切な気がしますが、と思います。

編集後記

みんなのくらしと身近にある鉄道は、さまざまの人が乗ります。いつも家で乗っている車のように、乗り方や注意すべきことがわかれば、安心して乗ることができると思います。そのためには、鉄道会社の人々が色んな工夫をして安心して乗れるようにしていることを新聞で伝えたいと思いました。今回は、私の身近にある東武鉄道で走っている電車の中で見つけられる工夫を新聞にしましたが、電車だけでなく駅やほかの鉄道会社によって工夫がさまざまだと思います。別の鉄道会社の電車に乗る機会があれば、調べてみたいと思います。

特急リパテに見守る安心カメラ

一部の電車にしかついていませんが、新しい電車にはほとんどカメラがついています。電車の中でトラブルが起きた時に、ほんの短い間に役に立ちます。これから、色んな電車で広がっていくと思います。